## Linuxパイナリ on 自作OS

Linuxバイナリを自作OS上でそのまま動かす

### 内容

- Linuxバイナリをそのまま動かす「ABIエミュレーション」の解説
- 先行事例
- Linuxプログラムの初期化処理
- Linuxシステムコール処理
- Busyboxのシェルを動かすのに必要なもの

## プモ

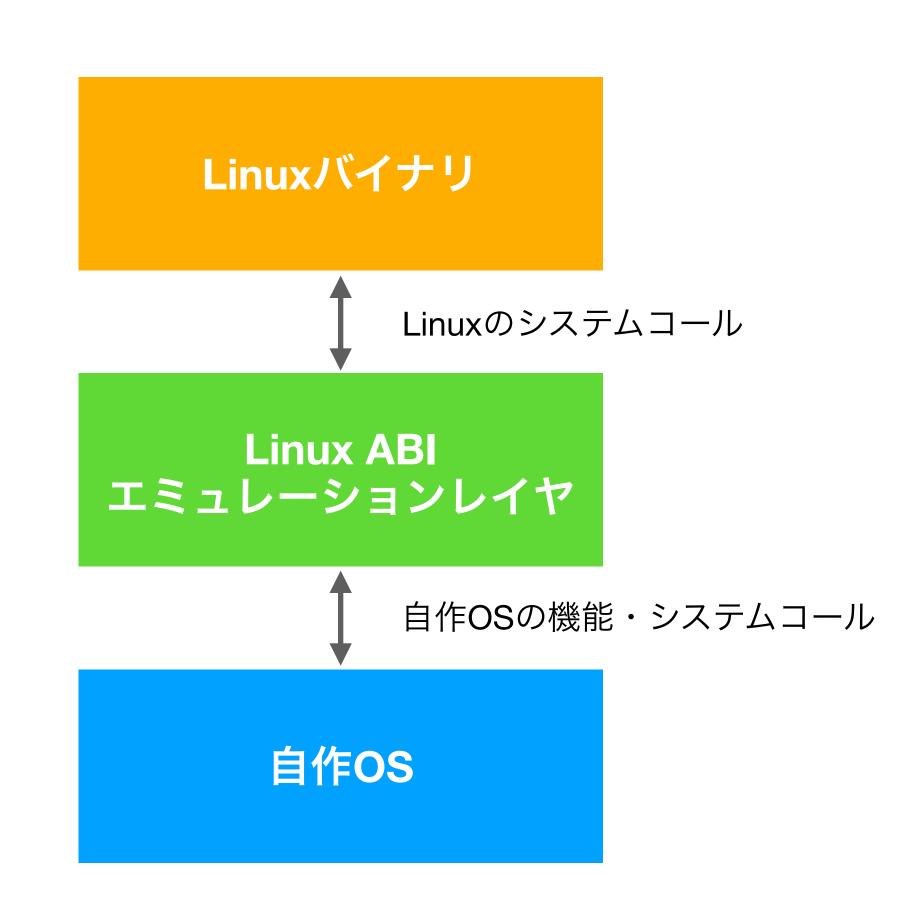
### 先行事例

- Windows Subsystem for Linux (WSL)
  - WSL1ではバイナリエミュレーションしていたらしい
- FreeBSD / NetBSD
  - NetBSDはLibre OfficeのLinuxバイナリが動くレベルらしい
- OSv
  - Linux ABIを実装したユニカーネル

# Linuxバイナリ対応に (最低限)必要なもの

### ABIエミュレーションの概要

- Linuxバイナリが使うもの(システムコール等) を提供するのが目的
- メインはLinuxシステムコールを自作OSの機能 を使って実装すること
- 自作OS側でシステムコールへのフック機構が 必要



### Linuxプログラムの初期化処理

初期化は特に大変ではない:

#### 1.Linuxバイナリ(ELFファイル)のロード

• .bssセクションのゼロクリアし忘れに気をつけよう

#### 2.コマンドライン引数、環境変数、補助ベクタのコピー

• 補助ベクタはlibcが内部で使う。AT\_NULLだけおけば(とりあえず)動く。

#### 3.ユーザプロセスの開始

### Linuxシステムコールの処理 (x86\_64)

- System V ABIのドキュメントの付録に書いてある
  - SYSCALL命令で呼ばれる。引数は全てレジスタ経由。
  - ・ RCX/R11以外の汎用レジスタはシステムコールハンドラが 上書きしてはだめ(復元してあげる必要がある)
  - https://www.uclibc.org/docs/psABI-x86\_64.pdf
- 自作OSが独自のシステムコール体系を持っている場合は,何らかのフック機構が必要
- ここができればシステムコールをひたすら実装していくだけ。

### 必要なシステムコール(アセンブリのHello World)

- write
  - 画面出力をする
- exit
  - プロセスの終了

```
.code64
.intel_syntax noprefix
.global _start
_start:
    ; write(stdout, "Hello, World from Linux ABI!\n", 29)
    mov rax, 1
    mov rdi, 1
   lea rsi, [rip + msg]
    mov rdx, 29
    syscall
    ; exit(0)
    mov rax, 60
    mov rdi, 0
    syscall
    ud2
.section .rodata
msg:
    .ascii "Hello World from Linux ABI!\n"
```

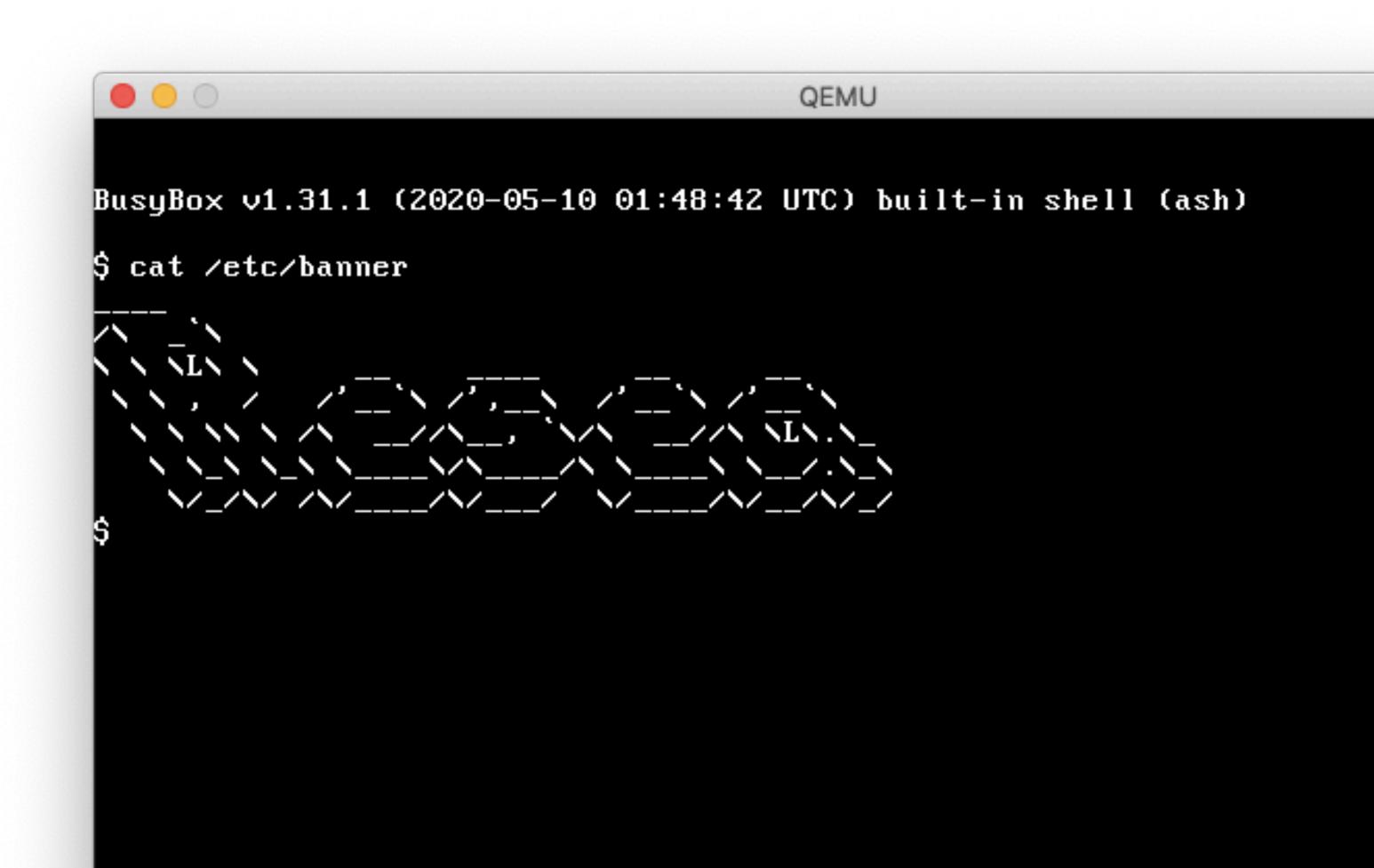
### 必要なシステムコール (CのHello World)

- arch\_prctl
  - FSレジスタのベースアドレスの設定
- set\_tid\_address
  - マルチスレッディング関連 (とりあえずoを返せばOK)
- ioctl
  - 確か標準出力がttyがチェック (とりあえずoを返せばOK)
- writev
  - putsが使う

```
// musl-gcc -static -o hello hello.c
int main(void) {
   puts("Hello World from Linux ABI!");
}
```

### 必要なシステムコール(Busyboxのcatコマンド)

- open
  - ファイルを開く
- read
  - ファイルの読み込み
- close
  - ファイルを閉じる (とりあえずoを返せばOK)



### 必要なシステムコール(Busyboxのechoコマンド)

- brk
  - ヒープ領域の拡張

```
QEMU
BusyBox v1.31.1 (2020-05-10 01:48:42 UTC) built-in shell (a
 echo hello!
hello!
```

### 必要なシステムコール(Busyboxのシェル)

- getpid
  - シェルのPIDを返す
- read (キーボード入力)
- stat
  - \$PATH内の探索に使う(加えてst\_modeで実行可能か見ている)
- fork / exec / wait4
  - プロセスの作成と待機
- rt\_sigaction / rtsigprocmask
  - シグナル関連 (とりあえずoを返せばOK)

```
QEMU
BusyBox v1.31.1 (2020-05-10 01:48:42 UTC) built-in shell (a
 echo hello!
hello!
```

### まとめ

- Linuxバイナリ互換に必要なものをざっくり説明した
- uname(1) が動くと感動する
- 簡単なプログラムを動かすだけなら、それ程大変ではないので皆さんも やりましょう
- ここでもう少し詳しく説明しています
  - https://seiya.me/implementing-linux-abi